

ウオッチング 多摩ニュース

第90号
2018年12月25日
ウオッチング多摩の会

議会基本条例の理念 その具現化は何処へ？

12月議会の傍聴席から
神津 幸夫

12月議会は9月議会会期末に飛び出した「不祥事」への対応など、注目していたが、肩すかしであった。議員からいくつか提案があったが、翻って議員に同じ内容を提案したらどうなるのか、責任の所在があいまいな質疑もあり、論議は低調だった。

**議会改革の熱はスツカリ冷め、
あとには条文だけが残った！**

多摩市議会は平成19年に議会基本条例をめぐす議会特別委員会を設置。約2年半かけて検討し、平成22年3月議会で可決、同年9

月8日に施行した。その過程で多摩市議会ウオッチングの会も参考人の一人として意見聴取に参加した。条例の活動原則として、行政運営の監視・評価、政策提案機能を積極的に活用、議員間の自由闊達な討議、開かれた議会運営などを謳っている。

条例に盛り込まれている特徴的なこととして他市と比較しても、市長の反問権の設定、議員間討議への努力、政策立案に資することなど、頷けるものが多くある。

12月議会の一般質問や常任委員会での質疑では、この基本条例を頭の片隅に置いて傍聴したが、条例理念へ近づけようという努力

設立20周年記念の集い

20年そしてこれから

日時 1月16日(水)

13時30分～16時00分

場所 からきだ菖蒲館ホール

これからの20年を語り合います。是非ご参加ください。

今号の特集

市民から乖離する議会

投稿 きくち 克行



市議会・議員への要望

投稿 浅井 弘幸

は全く見られず十年一日、進化のない虚しいものだった。

25名の議員全員がそれぞれの行政へ質疑提案を行っているが、指摘と意見に留まり、その域を一步も踏み出すには至っていない。議員は「他市ではこのようなことをやっているが、わが市でもどうか」、「市長は市民参加というが、それが言葉で終わっていないか」、「行政は計画を一つだけ示しその説明・説得の会を市民参加というが、多様な選択肢を用意してこそ市民の声が反映できるのではないか」と、勉強結果を披歴するように受け止められる質疑に終始している。



議会が機能していない！

市民は、議員のこの傍観者的・評論家的な質疑に、「それであなたは何をするのでですか」と問いかけたくなる。

市長も反問権を行使し議員に問い返せば、議論が深まり、問題・課題が見え、市民にはより分かり易くなるのに、これを行わないのは宝の持ち腐れだ。

子供教育常任委員会での「パルテノン多摩に大型自動演奏器を残して頂きたい件についての陳情」が、この期に及んで継続審査としたことには呆然自失だ。議会が議決したことに対し市民陳情があつたらそれを取り上げ継続審議にするということは、議会はこれまで何をしてきたのかと、鼎の軽重を問われても致し方ない。この問題が今さら提起されることこそ、パルテノン多摩は何をするところかという市民コンセンサスを作れないまま計画を進めたことに起因している。

多摩市が他市に先駆けて制定した素晴らしい議会基本条例が理念条例の域を脱し、名実ともに現実のものに近づけるといふ議会改革が今こそ急務だ。

我が国が、働き方改革が叫ぶその根底には生産性の向上を求めなければならないところにある。議員から市職員の給与に関する指摘はもつともだが、その前に議員定数・議員報酬を自らの生産性に顧みて率先垂範し市民にその働き方の範を示すべきではないか。

市民から乖離する議会

投稿 きくち 克行

議員の働きぶりは？

「多摩広報 12月5日号」をご覧になりましたか？ 5ページに多摩市議会議員の報酬が載っています。年額約800万円。議長、副議長はさらに上乘せがあります。議員総数26人。報酬総額は2億円超です。そのおカネは誰が払うのか。私達、多摩市民の税金からです。この金額が妥当かどうかの前に、議員の皆さんの働きぶりを考えてみたいと思います。

ひとり暮らしシニア増減マップ

先月、日本経済新聞（デジタル）が「ひと



市政の不祥事は、なれ
合い議会が招いた！

り暮らしシニア増減マップ」を報道。単身高齢者が急激に増えていることは周知の事実です。この記事では全国の市区町村の実態が分かります。都心部を囲むドーナツ圏で多摩市は増加率1位の3・1倍。立川市2・1倍、調布市2・2倍、府中市2・2倍、八王子市2・6倍、町田市2・7倍……。また、朝日新聞（デジタル）は全国148市区町村の待機児童数の調査データを報道。この調査では、隠れ待機児童数を含む合計を出しています。

多摩市は「多い」方からの順番で60番目。八王子市は100番目。稲城市、国立市と続きます。12番目の府中市、28番目の調布市と比べれば、まだよい方と思えるかもしれませんが、若い人口の増え方を比べれば、また別の問題になります。

将来を見据えて提案するのが議会

こういった事柄は多摩市の将来を考えると重要なテーマです。ですが、これらの問題で「ぜひ、こういう施策を取るべきだ」という具体的な提案や、「一体、多摩市はどう政策を進める考えなのか」と厳しく追及した議員

市民15万人全員が
ウォッチャーであり
サポーター！

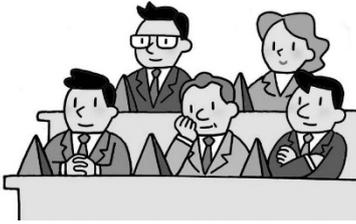
の方はいません。

多摩市も東京都も同じですが、強大な権限を持つ知事、市長と行政 VS 議会 Ⅱ 議員というのが地方自治の仕組みで二元代表制といえます。なんで今さら、そんなことをと笑われるでしょうが、実は私は二年前まで、この基本的な仕組みを十分に理解していませんでした。

市議会の在り方に疑問！

ウオッチング多摩の会に加わって市議会を傍聴し、そこから学んだのです。その結果、現在の市議会の在り方に多くの疑問を抱くようになりました。

今年10月、パルテノン多摩でウオッチング多摩の会と阿部裕行市長との公開対話集会が開かれました。当日の様子はウオッチングニュース88号で特集しました。参加された市民の方から「どうしても言いたい」と遊



身を切る努力とは、自分の身を切ることもある

歩道の橋の損傷が指摘されました。市内には公園と隣接地域、各地区を結ぶ歩道の延長のような橋が沢山有ります。その手摺の塗装が剥げ落ち、錆が浮き出していたり歩道部分の舗装がボロボロになっていた。危なく安心して歩けない。パルテノン多摩の大規模改修へ80億円もおカネを投入する前に、橋の修繕をやって欲しい」

市民の不安を解消すべし！

阿部市長の回答は例のごとく曖昧でした。一方、市議会で近頃このような状況の改善、市の補修計画などを厳しく追及した議員はいません。議員の皆さんも阿部市長も「市民に寄り添う」とよく口にされます。が、実態は市民からの乖離です。

ウオッチング多摩の会に“規約”はありません。多摩市の現状と先々を考え、市議会を傍聴し、行政が暴走しないよう市民目線から時に称賛の拍手を贈り、時に苦言を述べる。立ち位置は常にニュートラル。——この考え方が大いに気になって加わりました。その結果が疑問の山積みです。来年、1月16日にウオッチング多摩の会創立20周年の集いを開きます。鋭い指摘に議会が大慌てしたことなど、面白い話続々です。ぜひ、ご参加ください。

地方議員は自由に発言すべき！

数十年前、地方議会議員に国会と同じ所属政党が必要なのか、大いなる疑問を抱きました。その当時、新聞記者の端くれであった私がある国会議員に尋ねると、「そりゃ、地方は国から交付金を引つ張らなきゃならないんで、所属(政党)が同じなら話が早いやね」。地方自治はお金Ⅱ政党の繋がりで自主性を喪失している。

多摩市は交付金を受けていません。市議会議員は何で、国会と同じ所属政党の方が沢山おられるのでしょうか。これも大きな疑問です。



会派拘束を止めて自由に討議すれば、地方自治が進展する

市議会・議員への要望

投稿 浅井弘幸

来年の市議会選挙を控え、議会・議員には以下の2点を要望する。

二元代表制のもと緊張感を！

昨今の多摩市役所内の不祥事の数々について、それに対する市（行政側）の対応・釈明を聞いても、辻褄合わせであり、真に市民に向き合った姿勢なのか、残念ながら毎回疑問を覚える。同時に、強く思うのは、いったい市議会は何をやっているのか？日本の地方自治の根幹である市長と市議会からなる二元代表制は多摩市では機能していないのでは？とその思いを強くする。

行政を監視すべき議会が全く機能を発揮せず、市民の代表として自らの権能を用いて説明することなく、市の報告を待つことに終始する姿に、いまさらながら落胆を禁じ得ない。行政内で問題が発覚したとき、行政から「第3者委員会が調査し報告します」との対応に、報告をきくことが市民の代表として行政を監視するに足るものではない。これは怠慢ではないだろうか。市議会議員は非常勤の名誉職ではない。

「第3者委員会なら公正・公平」が担保されるというが、数々の不祥事を取り繕ってきた市の実情から察するに信頼性に欠ける。実際どこまで独自に動いたのかはつきりせず、また発表・公表のタイミングも市側にコントロールされている。現実の議会の調査能力、議会スタッフの数、そして調査にかかる時間と労力を考えると、難しい点があるのは理解できるが、市のイニシアチブで行われる第3者委員会の報告を受けるだけというのは、最小限の対応でしかない。数々の不祥事が発生していることを思えば、市民の負託にこたえるというのは、議会が**百条委員会**を立ち上げて、自ら調査し、説明する—これが議会の責務といえる。行政と緊張関係を保つことが私たち市民の求めていることである。

多摩市では、行政の根本的な土台・基礎の改良が必要な状況で、議会が果たす役割は大きい。情報の公開と、事実を基礎とした、議会の本来の姿を追求することこそ、いま必要である。政策実現のため行政と癒着するのは手段・方法を間違えている。二元代表制のありべき姿に立って、多摩市を再生する議員・議会となってほしい。

Free Wi-Fiの設置と運営

ピューロランド。この多摩市だけにある観光資源に、世界中から観光客がくる中でFree

Wi-Fiの整備はインバウンド観光に対するインフラ整備の最重要事項と考える。日本に来る海外観光客の苦情の上位にFree Wi-Fiが少ないというのがある。見たものを直ちにSNSから発信するにはFree Wi-Fiが必要。多摩市での滞在で個々の観光客による時間差のないSNS発信が多摩市の認知を上げる重要な役割を果たす。周辺の近隣自治体では次々とFree Wi-Fi整備が進み運用されている。またデータ通信インフラは電話音声の通信網と並んで、防災の観点からも重要インフラとして整備が望まれる。

入会申込書

氏名
住所
電話・FAX
メールアドレス

■会費・カンパ振込先■

みずほ銀行多摩センター支店 1197246

「多摩市議会ウオッチングの会」

■申し込み■

「ウオッチング多摩」の会 代表 神津幸夫

〒206-0034 多摩市鶴牧3-14-2-102 042-372-9496

HP: <http://watching-tama.com/>

★入会金は必要ありませんが、会報発行等の活動維持のために年会費2000円を頂いております。